



同窓会

千南原

第 26 号

平成 24 年 (2012 年)  
10 月 1 日発行

【編集・発行】

〒426-8577  
藤枝市天王町 1 丁目 7-1  
静岡県立藤枝東高等学校同窓会

【同 窓 会】

電話／054-645-3527  
FAX／054-645-3529  
＜同窓生数＞24,333 名  
＜在学生数＞920 名  
＜職員数＞85 名

【印刷】

〒426-0041  
藤枝市高柳 1 丁目 18-23  
株式会社共立アイコム  
電話／054-635-4651 (代)

# がんばれ サッカー部

「サッカー部には誰がいた？俺は〇〇と同じだけ」僕は▽です「そうか、分かった」ああ、あのころですか——とは、同窓会で初めて顔を合わせた、世代が異なる先輩と後輩の会話である。卒業回数、あるいは卒業年度の伝えても互いに首をかしげていたが、サッカー部同期生の名を告げ合ったとたん、納得顔でうなずき合った。そう、サッカー部は同窓生同士の卒業年度を示す基準であり、東高を巣立った者の心をとらえてやまない存在なのだ。そんな、われらがサッカー部が3年間、全国舞台から遠ざ

かっている。当然のことながら、寂しい思いに駆られている先輩諸氏も多いはずだ。そこで、現況を報告する。間近に迫った選手権予選に向け、温かいエールを送ってほしい、との思いを込めて。

以前は全国選手権、国体、全国総体が、最近の選手権、総体、全日本ユースが全国の晴れ舞台である。もともと、プリンス、プレミアリーグの発足で全日本ユースは形態を変えてきたが、それをふまえた上で、東高の球跡をたどると、選手権23回、国体と総体ともに12回、全日本ユース4回の出

場を数え、全国大会常連校であることが浮かび上がる。だが、東高創立60周年記念誌「サッカー六十年のあゆみ」にある、雌伏の日々の表裏が物語るように、全国舞台と無縁だった時期もある。昭和49年度から4年間、60年度からは7年間、県予選の壁を突破できなかった。こうしてみようと、現在の3年間は全国空白期間のワースト3位ということになる。

好不調の波が激しく、前半と後半で全く違う顔を見せたり、不用意なミスでゴールを割られたり、とスタンドのため息を誘う

こともしばしばだった。ただ、昨年度は総体予選で決勝、選手権予選で準決勝、本年度も総体予選で準決勝と、いずれも上位に勝ち上がった。プレミアリーグ進出につながるプリンスリーグも上位争いを演じ、復活に向け、地道に実績を積み上げていることも事実である。夏休み恒例の韓国遠征や東西大学交流試合、それに流通経大柏、鹿児島実といった国内強豪との練習試合で互角以上の戦績を残し、吉野友三監督(67回)は「戦える」との手応えをつかんでいる。

白井悠太郎主将、西川雄人、渡辺吉都両選手ら従来の主役組に加え、数人の1年生がスタメンに名を連ねるなど、新しい力を投入した新布陣で4年ぶりの全国へ挑む。

その4年ぶりの全国が懸かる、選手権予選はリーグ戦以降からの参戦だ。平成10年度の全日本ユース優勝以来、全国制覇とは14年間、縁がない。いや、それよりも「3年間の空白」を埋めてほしい。そうすれば、その先の道も開けるはずというのが、同窓諸氏の願いである。同窓諸氏、あらためてエールを送ろう。「頑張れサッカー部」(会報委員K)

## 村松大輔選手 五輪出場

元千南原健児がロンドン五輪の舞台に立った。村松大輔選手(平成19年度卒、81回)清水エスパルスだ。メキシコ五輪銅メダリストの富沢清司(35回)、山口芳忠(36回)両選手以来、44年ぶりの東高が生んだ五輪戦士である。

村松選手は焼津市出身。中学時代は藤枝東FCに所属、東高では3年の冬、全国選手権優勝に貢献した。卒業後、JFLのホンダFCに加入し、湘南ベルマーレを経て、昨年から清水でプレーしている。もともDFだったが、清水に移り、ボランチを任されている。対人プレーの強さには定評があったが、課題だったパスワークも向上して、五輪代表の座を射止めた。

五輪本番は予選リーグ1、2戦と出番はなかったが、3戦目のホンジュラス戦にフル出場した。ボランチではなく、サイドバックでの起用だったが、効果的な攻撃参加も

みせ、存在感を十分にアピールした。だが、決勝トーナメントに入ると、ピッチに立つ機会はなく、ベンチで戦況を見つめ続けた。出場は1試合にとどまった。それでも世界のプレーを実感することができ「自分を認め直す場になった」という。かがえのない経験を積んだことは間違いなく、帰国直後、出場したJリーグの鳥栖戦で、いきなり決勝点をたたき出して、新たな一歩を踏み出した。



白井悠太郎主将(藤枝明誠戦)



今年度プリンスリーグ登録メンバー



本校での壮行会の様子



### 平成 23 年度 藤枝東高等学校同窓会会計決算書

(平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日)

収入総額 30,033,350 円

支出総額 30,033,350 円

差引金額 0 円

| 収入の部    |            | △は減        |         | 単位：円                        |  |
|---------|------------|------------|---------|-----------------------------|--|
| 科 目     | 23年度決算額    | 23年度予算額    | 増 減     | 摘 要                         |  |
| 繰 越 金   | 22,377,990 | 22,377,990 | 0       |                             |  |
| 入 会 金   | 2,866,000  | 2,871,000  | △5,000  | 10,000 円×283 名 3,000 円×12 名 |  |
| 寄付及び総会費 | 4,781,923  | 4,000,000  | 781,923 | 維持費・総会費                     |  |
| 雑 収 入   | 7,437      | 30,000     | △22,563 | 名簿会計より繰入・預金利息等              |  |
| 合 計     | 30,033,350 | 29,278,990 | 754,360 |                             |  |

| 支出の部      |            | △は減        |             | 単位：円                |  |
|-----------|------------|------------|-------------|---------------------|--|
| 科 目       | 23年度決算額    | 23年度予算額    | 増 減         | 摘 要                 |  |
| 会 議 費     | 1,167,570  | 800,000    | 367,570     | 本部役員会、役員総会、委員会      |  |
| 事 務 費     | 2,917,133  | 3,610,000  | △692,867    |                     |  |
| 事 務 局 費   | 424,175    | 600,000    | △175,825    |                     |  |
| 旅 行 費     | 128,000    | 160,000    | △32,000     | 本部役員会、関東・中京・浜松地区会   |  |
| 印 刷 費     | 967,009    | 1,000,000  | △32,991     | 会報送付用封筒等            |  |
| 通 信 費     | 1,318,299  | 1,600,000  | △281,701    | 会報送付費用・往復葉書、切手      |  |
| 備 品 費     | 73,710     | 100,000    | △26,290     | プリンター・ファックス         |  |
| 消 耗 品 費   | 5,940      | 150,000    | △144,060    | ゴム印・文具等             |  |
| 事 業 費     | 1,519,508  | 2,209,777  | △690,269    |                     |  |
| 記 念 品 費   | 466,515    | 500,000    | △33,485     | 卒業生記念品、入会記念品        |  |
| ホームページ    | 0          | 300,000    | △300,000    | ホームページ変更作成費         |  |
| 支部活動助成費   | 121,785    | 200,000    | △78,215     | 静岡・中京               |  |
| 慶 弔 費     | 11,331     | 100,000    | △88,669     | 弔電・生花・香典            |  |
| 会館補助費     | 100,000    | 100,000    | 0           | 千南原会館維持費補助          |  |
| 会館整備費     | 0          | 200,000    | △200,000    |                     |  |
| 保 険 料     | 46,010     | 60,000     | △13,990     | 同窓会館火災保険料           |  |
| 渉 外 費     | 255,700    | 150,000    | 105,700     | 各関係の団体等への祝儀・会報出筆者謝礼 |  |
| 特別会計補助金   | 499,777    | 499,777    | 0           | 特別会計への補助            |  |
| 雑 費       | 18,390     | 100,000    | △81,610     | 卒業アルバム代等            |  |
| 予 備 費     | 0          | 22,659,213 | △22,659,213 |                     |  |
| 次 年 度 繰 越 | 24,429,139 | 0          | 24,429,139  |                     |  |
| 合 計       | 30,033,350 | 29,278,990 | 754,360     |                     |  |

### 〈24年度総会と今後の活動について〉

本年度は、平成24年7月8日(日)、藤枝「小杉苑」にて同窓会総会が開催されました。当日は、多数の方にご参加していただき無事終了いたしました。

内容は、23年度決算報告、24年度収支予算の承認、本年度の活動内容等を議論していただきました。尚、決算報告は本紙記載の通りです。

尚、23年度決算書収入欄に記載の通り、多数の皆様からの同窓会維持費の御協力がありましたのでこの場をお借りいたしまして事務局より厚くお礼申し上げます。

#### 各委員会活動を報告します。

総務委員会の活動につきまして、皆様の名簿データの収集及び整理をし、今後の90・100周年事業に向けての資料整理をしております。26年度に90周年となるため、今年度はその実行委員会の発足を行う予定です。そのために、積極的に各回にご依頼し名簿の取得、訂正を行ってまいります。

組織・規約委員会につきましては、各支部との連携をより強くしていき活動の活性化を図ってまいります。また、今年度は各支部別に企業と同窓会組織の掘り起こしを行い、同窓生によるネットワークづくりを行い、会員のデータ取得をより積極的にしてまいります。

会報委員会につきましては、引き続き年1回の発行と内容の充実をめざして参ります。



平成24年度 総会(小杉苑にて)

H・P・データ管理委員会につきましては、ホームページの更新作業をスムーズに行うようにし、最新の情報を常に掲載してまいります。

#### 〈90周年記念事業について〉

26年度に90周年を迎えますが、前段で書きました通り「学校後援会」を中心に「90周年事業実行委員会」を発足していく予定です。事業内容につきましては、これから議論をしていきますが基本的な考え方は、「生徒中心」としたいと思っています。また、記念式典・行事・現行設備(千南原・同窓会館等)の老朽化に対する補修等も考えております。また皆様にご協力をいただく時があると思いますがよろしくお願いいたします。

各委員会活動を通して今後の同窓会のあり方・活動についても検討をしてまいります。各委員の皆様の一人心のご意見、ご援助が今後の同窓会にとって非常に重要なポイントと確信しておりますのでぜひご意見をお寄せください。